

# ティーチング・ポートフォリオ

山村学園短期大学 子ども学科  
学長・教授 野口 一夫

## 1 教育の責任

令和元・二年度の担当科目

科目名	学期	対象学年	種別	受講者数	備考	
保育内容 環境	前期	1年	演習	36名	1・2組	
	前期	1年	演習	37名	3・4組	
環境の指導法	前期	2年	演習	34名	1・2組	
	前期	2年	演習	34名	3・4組	
保育・教職論	後期	1年	講義	73名		

## 2 教育の理念

2017(平成29)年3月に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂・告示され、平成30年4月から施行された。

私たち大人は、乳幼児期の子どもの世界から実に多くのことがらを学ぶことが多い。様々な自然の生き物に強く関心を持つ子どもからは、四季の変化や、自然界の魅力に目を向けさせてもらっている。乳幼児の教育・保育のあり方の原点として、レイチェル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」の言葉をかみしめたいものである。

1人ひとりの子どもにとって、環境とは、地域社会全体、あるいは地球環境という大きな環境という意味と、園や家庭、地域の身近な環境という意味もある。そういう意味では、環境には「広がりと重なり」があると言えるだろう。また前記の3つの要領や指針における環境の位置付けや、不足がちと言われる原体験、その中で本学の豊かな自然環境をどう生かしていくかを保育者養成校として追究していきたい。

乳幼児期の教育・保育を、保育内容「環境」として学ぶことは、「身近なところ～足元」から「世界に目を向けて～地球規模で考え」という、ロマンあふれる創造につながっていくことを期待しながら。

## 「センス・オブ・ワンダー」

Sense of Wonder

美しいものを美しいと感じる感覚

新しいものや未知なものにふれたときの感覚

思いやり 憐れみ 讃嘆や愛情などの さまざまな形の感情

それらがひとたびよびさまされると

人はその対象となるものについて

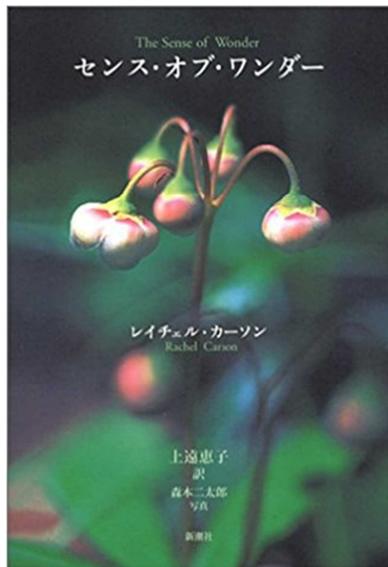
もっとよく知りたいと思うようになる

わたしたちの多くは、まわりの世界のほとんどを視覚を通して認識しています。しかし、目にはしていながらほんとうには見ていないことも多いのです。見すごしていた美しさに目をひらくひとつの方法は、自分自身に問いかけてみることです。

「もしこれが、いままでに一度も見たことがなかったものだとしたら？ もしこれを二度とふたたび見ることができないとしたら？」と、

「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではない・・・と言い切るカーソン

レイチェル・カーソン著「センス・オブ・ワンダー」より



## Natural Message



埼玉景観賞 1989年受賞  
～ループルを思わせるホール入口～

### 3 教育の方法

#### (1) 保育内容 環境

##### 【ねらい】

幼児を取り巻くさまざまな環境や幼児と環境の関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。

##### 【到達目標】

環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、身近な環境との関りを具体的な生活事例（製作・遊ぶ活動）を通して実際に行い体験的に学ぶことができる。

環境を、広い意味や保育内容「環境」としての意味を理解し、具体的な体験・経験のなかで身に付けていく。

環境とは、領域「環境」とは、環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解することができる。

#### (2) 環境の指導法

##### 【ねらい】

領域「環境」に関わる周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもつて関り、それらを生活に取り入れていこうとする経験と、小学校以降の教科とのつながりを理解できる。

##### 【到達目標】

幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、領域「環境」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けることができる。

#### (3) 保育・教職論

##### 【ねらい】

保育士や幼稚園教諭を目指すために、保育者とは何か、今保育者に求められている資質や能力は何か、そしてその職務の内容等について、関連法規等を踏まえて検証することができる。

##### 【到達目標】

保育者（保育士・幼稚園教諭・保育教諭）に対する意識を高め、その違いや共通点を明らかにし、さらに保育者としての専門性の高揚を図り、連携・協働の重要性を理解することができる。

### 4 教育の成果、評価

令和元年度後期定期試験前に学生に対して授業アンケートを実施。

問1 ・欠席又は遅刻・早退をせずに受けましたか。

・私語を慎んで授業を受けましたか。

・授業の要点をノートにとっていましたか。

・シラバスは授業内容や評価の基準等を知るうえで役に立ちましたか。

・予習・復習及び技術向上のための都力をして授業に臨んでいましたか。

- 問2 ・授業内容は、シラバスに示されていた学習目標と合致していましたか。  
・授業内容のレベルは適切でしたか。  
・授業の進度（速さ）は適切でしたか。
- 問3 ・教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。  
・授業の説明の仕方はわかりやすいものでしたか。  
・授業中の板書や機器の利用は適切でしたか。  
・教材や資料はよく準備され、うまく活用されていましたか。  
・教員は学生の質問に適切に対応し回答していましたか。  
・学生の理解を深めよう、能力を高めようとする工夫や努力が感じられましたか。
- 問4 ・全体的に見て、この授業に対するあなたの評価はどの程度ですか。
- 問5 ・授業の感想を自由に述べてください。

( 1 ) 保育・教職論

5 . 0 ( 満点 )

問1

平均 4 . 6 4

問2

平均 4 . 6 3

問3

平均 4 . 6 4

問4

平均 4 . 5 4

結果の考察

昨年と比較すると、すべてにおいて数字が上回っている。

授業に集中する心がけを当初に徹底し、出欠の確認をするときもざわつかない工夫を凝らし、その場にあった言葉かけを重視した。その結果、極めて静寂な中で授業が進行していた。203の教室の中に全一年生が整然と授業に取り組むことができた。座席も縦に長くならず、前のほうにつめ、集中力を欠かさないよう配慮した。おしゃべりをすると他の人の迷惑になり、やがては自分に返ってくることをよく理解させた結果だと考えられる。

すべての項目が平均 4.58 以上という結果になり、その年度の学生の質もあると思うが、さらに一層のタイムリーな資料提供を心掛けるとともに、学生への適宜な声掛けや学びへのフォローに重点を置いていきたい。

## 5 教育の改善に向けた今後の目標

### (1) 保育内容 環境

短期的目標	<p>保育内容 環境に関しては、令和元年度子ども学科より始まった新設科目のため、前年度との比較はできない。しかし、全て4点台後半の数字から見て学生の食いつきは極めて高い。</p> <p>○同じように授業を展開しても、1・2組と3・4組では受け止め方は違う。本年は1・2組の方が平均が高い。</p> <p>○質の問題もあると思うが、きめ細かな対応が功を奏していると思われる。例えば、毎回のプリント提出を受け、次回までに励ましのコメントを添えて評価し返却。そのコメントを楽しみにしている学生も多い。さらに欠席者については提出プリントと資料を渡し、週間以内に提出を求め、他の学生から遅れないよう励ましとしている。15回中、節目に提出状況をチェックし、再度催促するとともに欠席回数やプリント提出が評価に大きく影響することをアナウンスしている。</p> <p>○出欠をとる際は、学生の顔をよく見て、時にはコメントを付け加え（例えば、プリントでいねいに記入していたよ、前回欠席したのはどうして・・・等）この言葉かけが単なる返事よりも信頼関係を構築するうえで重要と思われる。普段からの情報共有が多い常勤と非常勤の違いが出るところである。</p>
長期的目標	<p>Think globally, act Locally “地球規模で考え、足元から行動せよ” “思索は世界的に、行動は足下をしっかりと固めて” というように解釈されている。</p> <p>環境問題の認識は多種多様で世界の国々や人々によっても大きく異なる。自然環境は価値が高く大切で守るべきものであるが、時として人間の経済活動のために過剰に使われがちである。それは人間が環境に対する知識・意識・情報が薄いまま、行動・生活をしていることに起因する。それを改善・解決していくためには、一人ひとりが問題を認識し、情報などを共有して行動することが必要である。つい「自分一人が行動しても変わらない」と思いがちだが、一人ひとりが行動を起こし、学校や会社、地域コミュニケーションを図ることで改善に向けて前進することができる。資源・エネルギーは有限である。その認識をしっかりととらえ、“もったいない精神”を常に意識し、資源のリサイクル、エネルギーの節約に努めたいものである。</p>

## (2) 環境の指導法

短期的目標	<p>○同じように授業を展開しても、1・2組と3・4組では受け止め方は違う。本年は3・4組の方が平均が高い。</p> <p>○全体的には昨年よりアップしている。質の問題もあると思うが、きめ細かな対応が功を奏していると思われる。例えば、毎回のプリント提出を受け、次回までに励ましのコメントを添えて評価し返却。そのコメントを楽しみにしている学生も多い。さらに欠席者については提出プリントと資料を渡し、週間以内に提出を求め、他の学生から遅れないよう励ましとしている。15回中、節目に提出状況をチェックし、再度催促するとともに欠席回数やプリント提出が評価に大きく影響することをアナウンスしている。</p> <p>○出欠をとる際は、学生の顔をよく見て、時にはコメントを付け加え（例えば、プリントでいねいに記入していたよ、前回欠席したのはどうして・・・等）この言葉かけが単なる返事よりも信頼関係を構築するうえで重要と思われる。普段からの情報共有が多い常勤と非常勤の違いが出る場所である。</p>
長期的目標	<p>本年度は「生活」はなくなり、「環境の指導法」となる。生活の意図している内容は一部引き継ぐ。</p> <p>領域「環境」に関わる周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする経験と、小学校以降の教科とのつながりを理解できる。</p> <p>幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、領域「環境」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けることができる。</p>

## (3) 保育・教職論

短期的目標	<p>○昨年と比較すると、すべてにおいて数字が上回っている。</p> <p>○授業に集中する心がけを当初に徹底し、出欠の確認をするときもざわつかない工夫を凝らし、その場にあった言葉かけを重視した。その結果、極めて静寂な中で授業が進行していた。203の教室の中に全1年生が整然と授業に取り組むことができた。座席も縦に長くならず前のほうに詰め、集中力を欠かさないように配慮した。おしゃべりをすると他の人の迷惑になり、やがては自分に返ってくることをよく理解させた結果だと考えられる。</p>
-------	--

長期的目標	すべての項目が平均 4.58 以上という結果になり、その年度の学生の質もあると思うが、さらに一層のタイムリーな資料提供を心掛けるとともに、学生への適宜な声掛けや学びへのフォローに重点を置いていきたい。
-------	--

## 6 その他

### (1) ナチュラル保育検定への取り組み

保育士や幼稚園教諭に必要なことは、知識や技術だけではない。物事に興味をもつこと、「知りたい」という子どもに負けない好奇心を持ち、命の大切さや生きる力を育てることが大切である。本学の緑豊かなキャンパスに生きる動植物等を学び、自然に関する知識やあそびに関する保育技術の習得のために、「ナチュラル保育検定」を実施している。令和元年度はテキスト（冊子）と合わせてスマホ対応で検索できる方法を導入。令和二年度は新型コロナウイルス感染の状況から、実践が一回となった。



オリジナルテキスト



フィールド学習

### (2) 公務員（保育士・幼稚園教諭）試験への指導とアドバイス

東京都を含め、県内市町村の公務員試験の募集要項にのっとり、合格論文の書き方、面接の受け方、適性検査、一般教養・専門試験への指導を徹底  
その結果OGを含め、平成30年度 5名、令和元年度 7名の合格者を出すことができた。令和元年度は1名 令和2年度 取組中。

Be natural  
本短大のキャッチコピー



ナチュラルロッジ



ナチュラルファーム



5月上旬 発芽

## ポップコーンを収穫したよ！

ファーム通信 № 3 R2. 8. 21

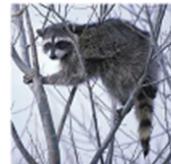


ポップコーン R2. 8. 20



今年のアライグマ  
対策もバッチリ！

豊作でした。



### 7 エビデンス一覧

- (1) 各科目シラバス(保育内容環境、環境の指導法 保育・教職論)
- (2) 授業時配布プリント
- (3) 試験問題
- (4) 成績集計結果
- (5) ナチュラル保育検定
- (6) 公務員コース年間計画